

2026年4月15日

各位

株式会社北洋銀行

お客さま 29 社と「サステナブル経営支援ファイナンス」 【目標選択型】の契約を締結しました

北洋銀行(取締役頭取 津山 博恒)は、お客さまのサステナブル経営を支援しています。

今般、2026年3月に、下記の通り、お客さま29社と「サステナブル経営支援ファイナンス」【目標選択型】の契約を締結しました。本ファイナンスは、持続可能な経営の実践に向け、北海道のSDGs推進ビジョン等に整合した目標設定と、社会価値創出のストーリー発信をサポートするご融資です。

近年、社会的にサステナビリティへの取り組みに対する関心が高まっており、企業イメージの向上や新たな事業機会の創出につながることから、多くの企業がサステナブルな事業活動を推進しています。

当行は今後も、ほくようサステナブルファイナンス等を通じ、北海道を営業基盤とする金融機関として環境・社会問題に前向きに取り組むお客さまを支援してまいります。

記

サステナブル経営支援ファイナンス【目標選択型】ご契約企業の概要(五十音順)

会社名	株式会社麻生不動産
代表者	代表取締役 高橋 克典
所在地	北海道札幌市東区北40条東8丁目3番1号

会社名	株式会社インテリア ダイエー
代表者	代表取締役 菊島 宏之
所在地	北海道札幌市豊平区月寒東2条7丁目2-6

会社名	w a l l リペアサービス株式会社
代表者	代表取締役 長内 雄大
所在地	北海道札幌市白石区菊水5条2丁目4番23号 パークヒルズ菊水1階

会社名	エッセグループ
代表者	代表取締役 米田 幹寛
所在地	北海道札幌市中央区北4条西6丁目1番3号

《北洋銀行グループ サステナビリティ方針》

北洋銀行グループは「経営理念」と「行動規範」に基づく企業活動を通じて、当行グループを支えていただいている全てのステークホルダーと地域社会・環境の持続的発展に貢献するとともに、当行グループの中長期的な企業価値の向上と持続的経営の実現に努めます。

2026年4月15日

サステナブル経営支援ファイナンス【目標選択型】ご契約企業の概要(五十音順)

会社名	帯ガス燃料株式会社
代表者	代表取締役 内木 敬典
所在地	北海道帯広市西2条南1丁目1番地

会社名	協和電工株式会社
代表者	代表取締役 平間 忠幸
所在地	北海道札幌市東区北20条東5丁目1番7号

会社名	株式会社建祥
代表者	代表取締役 苗加 直人
所在地	北海道札幌市北区北24条西16丁目3番10号

会社名	株式会社建成
代表者	代表取締役 松崎 秩
所在地	北海道札幌市北区新川西4条4丁目5-12

会社名	三協水産株式会社
代表者	代表取締役 小西 哲平
所在地	北海道浦河郡浦河町浜町32

会社名	有限会社三共木工
代表者	代表取締役 中山 春夫
所在地	北海道札幌市手稲区前田1条9丁目4-1

会社名	ジャパングリエイティブ株式会社
代表者	代表取締役 本橋 慶一
所在地	北海道北見市春光町1丁目24番地3

会社名	株式会社成祥
代表者	代表取締役 任田 大泰
所在地	北海道釧路市星が浦大通3丁目2番28号

《北洋銀行グループ サステナビリティ方針》

北洋銀行グループは「経営理念」と「行動規範」に基づく企業活動を通じて、当行グループを支えていただいている全てのステークホルダーと地域社会・環境の持続的発展に貢献するとともに、当行グループの中長期的な企業価値の向上と持続的経営の実現に努めます。

2026年4月15日

サステナブル経営支援ファイナンス【目標選択型】ご契約企業の概要(五十音順)

会社名	株式会社ソフトガーデン
代表者	代表取締役 長南 満
所在地	北海道札幌市中央区南1条東3丁目10番13号アイパスビル3階

会社名	株式会社タフト
代表者	代表取締役 酒井 和之
所在地	北海道札幌市北区北11条西4丁目1-11 1階

会社名	合同会社 tolerance
代表者	代表社員 佐々木 寛
所在地	北海道札幌市中央区南1条西7丁目12-6 パークアベニュービル506

会社名	日友電設株式会社
代表者	代表取締役 飯野 未明
所在地	北海道札幌市白石区北郷5条4丁目12番6号

会社名	株式会社ノースプランニング
代表者	代表取締役 朝倉 啓介
所在地	北海道札幌市手稲区前田7条18丁目5-12

会社名	バイオマスリサーチ株式会社
代表者	代表取締役 菊池 貞雄
所在地	北海道帯広市東2条南4丁目10番地

会社名	有限会社フレスコ
代表者	代表取締役 砂村 恵則
所在地	北海道旭川市東鷹栖東3条6丁目2149番地の28

会社名	プロパートランス株式会社
代表者	代表取締役 平間 亨
所在地	北海道石狩市花川南9条4丁目92番地

《北洋銀行グループ サステナビリティ方針》

北洋銀行グループは「経営理念」と「行動規範」に基づく企業活動を通じて、当行グループを支えていただいている全てのステークホルダーと地域社会・環境の持続的発展に貢献するとともに、当行グループの中長期的な企業価値の向上と持続的経営の実現に努めます。

2026年4月15日

サステナブル経営支援ファイナンス【目標選択型】ご契約企業の概要(五十音順)

会社名	北海葬祭株式会社
代表者	代表取締役 松井 貞憲
所在地	北海道札幌市中央区南26条西14丁目1番15号

会社名	株式会社北海道ケンソ
代表者	代表取締役 岡本 篤士
所在地	北海道札幌市東区東雁来6条2丁目7番15号

会社名	北海万豊運輸株式会社
代表者	代表取締役 相澤 雅樹
所在地	北海道札幌市白石区川下616-54

会社名	株式会社Marley
代表者	代表取締役 成田 学
所在地	北海道札幌市中央区南5条西5丁目10番

会社名	株式会社前谷商会
代表者	代表取締役 三嶋 一敏
所在地	北海道日高郡新ひだか町静内木場町2丁目10-36

会社名	Migi Agari株式会社
代表者	代表取締役 高木 拳斗
所在地	北海道札幌市東区北38条東7丁目2-17

会社名	株式会社ユーテック
代表者	代表取締役 廣瀬 博史
所在地	北海道札幌市白石区菊水元町7条1丁目14番14号

会社名	株式会社らいふばでい
代表者	代表取締役 金 大器
所在地	北海道札幌市中央区北4条西13丁目1番2号

《北洋銀行グループ サステナビリティ方針》

北洋銀行グループは「経営理念」と「行動規範」に基づく企業活動を通じて、当行グループを支えていただいている全てのステークホルダーと地域社会・環境の持続的発展に貢献するとともに、当行グループの中長期的な企業価値の向上と持続的経営の実現に努めます。

2026年4月15日

サステナブル経営支援ファイナンス【目標選択型】ご契約企業の概要(五十音順)

会 社 名	留萌アサノコンクリート株式会社
代 表 者	代表取締役 原田 英人
所 在 地	北海道留萌市春日町2丁目32番地

以 上

《北洋銀行グループ サステナビリティ方針》

北洋銀行グループは「経営理念」と「行動規範」に基づく企業活動を通じて、当行グループを支えていただいている全てのステークホルダーと地域社会・環境の持続的発展に貢献するとともに、当行グループの中長期的な企業価値の向上と持続的経営の実現に努めます。

株式会社麻生不動産

Sustainability Commitment

2026年2月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

1 脱炭素社会実現への貢献



目標・KPIs

温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

2 ワークライフバランスの充実

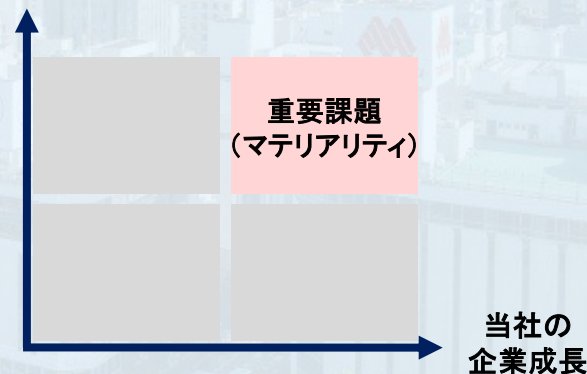


正社員の年間総労働時間を1,923時間以下にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



株式会社インテリアダイエー サステナブル経営支援ローン 評価レポート

評価日: 2026年3月13日

株式会社北洋銀行
月寒中央支店

1. 基本情報

企業名	株式会社インテリアダイエー	
代表者名	菊島 宏之	
所在地	本社 : 北海道札幌市豊平区月寒東2条7丁目2-6	
資本金	1,000 万円	
従業員	3 名 (2025 年 8 月現在)	
業種	建設業、内装仕上工事業	
事業内容	・ クロス工事 ・ 塩ビシート工事 ・ 床工事 ・ カーテン、ブラインド工事	
沿革	1989 年 12 月 2020 年 9 月	株式会社インテリアダイエー設立 代表者変更に伴い、代表取締役役に菊島宏之氏が就任

2. 経営方針

経営方針

「頼んでよかった」をずっと。
- 信頼と満足が続く、あなたのパートナーに -

株式会社インテリアダイエーでは、『「頼んでよかった」をずっと。- 信頼と満足が続く、あなたのパートナーに -』という経営方針のもと、すべてのお客様が安心して快適な生活を送れるよう、確かな技術と誠実な対応で高品質なサービスを提供している。お客様からお任せいただいた仕事一つひとつに真摯に向き合い、細部に至るまで完璧を追求する姿勢を大切にしていることが、長年にわたりお客様からの「信頼と満足」を積み重ねてきた理由である。また、地域社会から必要とされる企業としての責任を果たすため、社員一人ひとりの専門性向上に努めるとともに、地域との連携や交流も積極的に行っている。

3. 事業概要

株式会社インテリアダイエーは、札幌市を拠点に北海道全域で内装仕上げ工事を展開している企業である。クロス工事、塩ビシート工事、床工事、カーテン・ブラインド工事など幅広い事業を手がける中で、特に塩ビシート、織物クロス、和紙など特殊な材料を用いた施工に強みを持つ。

これらの特殊材料を扱う際は、一般的な材料に比べて高度な技術と細やかな配慮が必要とされるが、当社は長年の経験と熟練した職人の技術により、高品質な仕上がりを実現している。例えば、北海道庁展示室の復元工事では、伝統的な袋張り技法を用いた希少な施工にも対応し、歴史的建造物や意匠性の高い空間づくりにも貢献している。特殊材料の施工技術は、商業施設やホテル、病院、マンションなど多様な現場で高く評価されており、細部まで妥協しない丁寧な仕事で顧客からの信頼とリピーターの多さに繋がっている。

■ 作業の様子



出所：株式会社インテリアダイエー 提供資料

また、当社は、事業活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献することを重要な使命と位置付けている。再生資材(貝殻や廃棄材等)の活用や、子ども食堂への協賛、地域イベントへの協力、ボランティア活動への積極的な参加など、地域社会との連携を深め、社会的責任を果たしている。これらの活動は、北海道表具内装業協同組合からの表彰を受けるなど、外部からも高く評価されている。

人的資本面では、社員一人ひとりの専門性向上と働きがいの創出に注力している。資格取得支援制度を設け、試験日には有給休暇を取得できるほか、講習費や受験費用も会社が負担するなど、職人の成長を積極的にサポートしている。多様な人材が活躍できる職場環境づくりにも取り組み、ダイバーシティ推進やワークライフバランスの実現にも努めている。


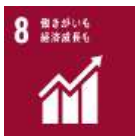
4. サステナビリティ目標

株式会社インテリアダイエーの更なる企業価値の向上と、持続可能な開発の実現にむけた社会課題を踏まえ、以下のサステナビリティ目標を設定した。この目標は、株式会社インテリアダイエーの事業エリアである北海道が持続的に発展し、魅力ある地域を創り上げていくために策定した「北海道総合計画(2024)」などを参照し、設定したものである。目標達成への企業行動を通じて、株式会社インテリアダイエーのプレゼンス向上と地域社会が目指す姿の実現に貢献するものであり、目標は有意義である。

(1) 環境面におけるサステナビリティ目標

重要課題	脱炭素社会実現への貢献
目標・KPI	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
関連するSDGs	 

(2) 社会面におけるサステナビリティ目標

重要課題	ワークライフバランスの充実
目標・KPI	有給休暇取得率を70%以上にする。
関連するSDGs	 

留意事項

本文書は、北洋銀行が借入人に対して実施する「サステナブル経営支援ローン」に際し、借入人の企業経営とサステナビリティ目標に対する北洋銀行の評価を述べたものです。

本文書に記載された情報は、現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況を評価したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

北洋銀行は当文書のあらゆる使用に起因して発生する全ての直接的、間接的損失や派生的損害については、一切義務または責任を負わないものとします。

本評価書に関する一切の権利は北洋銀行に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用(複製、改変、翻案等を含む)は禁止されています。

株式会社インテリアダイエー

Sustainability Commitment

2026年3月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

1 脱炭素社会実現への貢献



目標・KPIs

温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

2 ワークライフバランスの充実

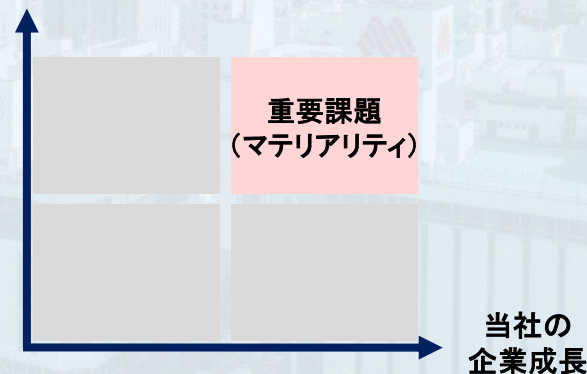


有給休暇取得率を70%以上にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

1 脱炭素社会実現への貢献



目標・KPIs

温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

2 人的資本経営の推進

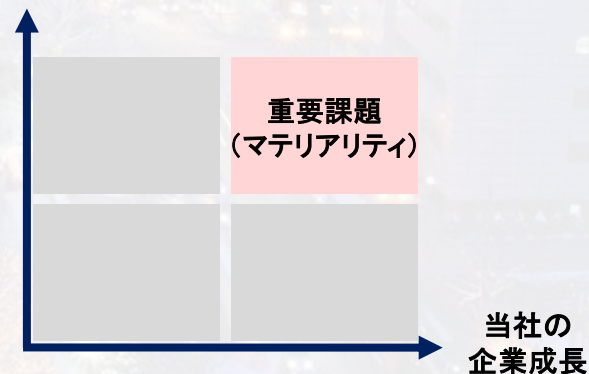


消費者物価指数を上回る賃金上昇を継続して実施する。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

目標・KPIs

1

脱炭素社会実現への貢献



温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

2

人的資本経営の推進

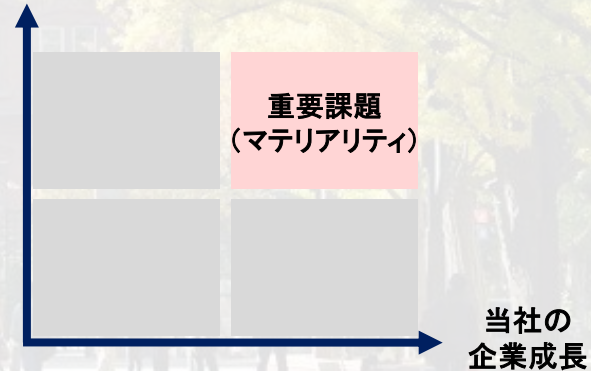


役職員のエンゲージメントの可視化を実施し、継続的に向上させる。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

目標・KPIs

1

脱炭素社会実現への貢献



温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

2

ワークライフバランスの充実

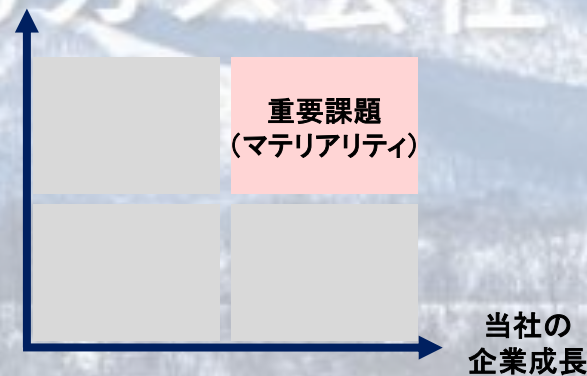


正社員の年間総労働時間を1,923時間以下にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



協和電工株式会社 サステナブル経営支援ローン 評価レポート

評価日: 2026年3月31日

株式会社北洋銀行
麻生支店

1. 基本情報

企業名	協和電工株式会社	
代表者名	代表取締役 平間 忠幸	
所在地	・ 札幌本社 札幌市東区北 20 条東 5 丁目 1 番 7 号 ・ 旭川支店 旭川市工業団地 4 条 2 丁目 3 番 18 号	
従業員	24 名 (2026 年 3 月現在)	
業種	電気工事業	
事業内容	・ 一般電気工事 ・ 仮設電気工事	
沿革	1983 年 6 月	旭川にて当社設立
	1990 年 4 月	札幌営業所を開設
	2014 年 11 月	札幌営業所を札幌支店として支店登記
	2019 年 11 月	札幌支店を本社へ、旭川本社を旭川支店へ変更

2. 社是・経営理念

社是

1. 私達は共に学び合い育ち合ってより良質の工事を提供できるよう努力し、全員が「夢」と「ゆとり」と「ユーモア」のもてる会社づくりをめざします。
1. 私達は、いつも感謝と反省を大切にし、努力と誠意をもって「信用ある会社」づくりをめざします。
1. 私達は「真の幸せと豊かさ」を味わえる会社づくりをめざします。

経営理念

私達は、地域社会に根差した技術を提供し、
それが生活・文化・経済に果たす役割の一翼を担うお手伝いをすることが自らの責務とし、
「存続」と「発展」を目指します。

経営方針

1. 顧客志向による業務運営を行う。
1. 技術の練磨と創意工夫を大切に。
1. 目標と計画は必ず実行。

3. 事業概要

協和電工株式会社は、一般電気工事および仮設電気工事を主体とする電気工事業者である。一般電気工事では、一般建築物の新築および改修工事の電気設備の設計・施工を行っており、主に旭川支店にて一般住宅向け工事を受注している。また、仮設電気工事では、タワーマンション、学校、病院といった特殊建築物および大規模建築物の建築工事や、トンネル掘削、シールド、橋梁工事などの土木工事に係る仮設電気工事の設計・施工を手掛けている。大手建設会社・ゼネコン各社を主要取引先とし、北海道新幹線の延伸工事にも携わっている。

当社は、特に建設現場における仮設電気工事を得意としている。一般電気工事は建築物に恒久的に設置される電気設備の施工を指すのに対し、仮設電気工事は建築物の建設工事期間中のみ使用される電気設備の施工を指し、建設現場全体の電源供給設備や作業用照明の設置などを行う。建設現場では電力がなければ作業が進められないため、仮設電気は工事開始時に最初に設置される重要な設備であり、当社は“現場の命綱”と位置付け、安全管理の徹底と迅速な施工に努めている。当社が手掛ける建設現場はほとんどが屋外であり、天候や作業状況の変化も大きい。当社の強みである長年の施工経験で培われた技術力を活かし、防水対策やケーブル保護など高度な安全管理と現場全体を止めないための迅速な対応を行っている。これにより、専門性が高く、厳しい施工条件をクリアしながら現場ごとに柔軟な仮設電気工事の施工を実現している。

■ 仮設電気工事の様子



出所：協和電工株式会社 提供資料

4. サステナビリティ活動

(1) 環境面の取組

協和電工株式会社は、建設インフラを支える電気工事業者として、環境負荷の低減を意識した施工を心掛けている。仮設電気工事では、建設現場ごとに適切な電源設備を設置することで、建設作業における電力の無駄な消費を防ぎ、建設現場における電力(エネルギー)利用の効率化に貢献している。また、建設現場への安全かつ安定的な電力供給にも寄与することで、建設作業時の事故や設備トラブルの予防につながり、資材の無駄な消費や工事遅延による追加的な電力・エネルギー使用が抑制され、環境負荷低減に貢献している。

加えて、当社は ICT 技術を活用するための現場内インフラ設備工事にも対応しており、建設現場の作業効率化や資源有効活用の促進にも貢献している。

■ 安全点検の様子



出所:協和電工株式会社 提供資料

(2) 社会面の取組

・電気工事を通じた地域社会の発展と生活基盤整備への貢献

協和電工株式会社は、一般電気工事を通じて直接的に社会インフラを支えているほか、仮設電気工事による建設現場における照明の設置や安全設備への電源供給を通じて、作業者の事故防止に寄与し、建設現場で働く人々の安全と健康を守ることに貢献している。

・働きやすい職場環境の整備

当社は、昨今の建設業界で課題となっている人材不足に対応すべく、若手や女性も働きやすい職場環境づくりを最重要課題と認識し、建設業に対する「きつい」「汚い」「男性中心の職場体質」といったイメージを払拭することを目指している。具体的な取り組みとして、自社の「組織」に関する強みと課題を可視化するための組織診断ツールを導入しており、匿名の従業員アンケートを通して、従業員が感じている職場環境や働き方に関する課題を可視化のうえ、従業員の意見を経営に反映させる仕組みを整えている。

・資格取得の支援を通じた人材育成

電気工事業は専門的な技術や資格が必要とされる業種であることから、当社では、技術者の育成や技能の継承など人材育成にも注力している。従業員の資格取得を積極的に支援しており、電気工事士などの資格取得にかかる費用を会社が負担する制度を設けているほか、定期的に社内勉強会を開催している。これらの取り組みは、従業員の技能向上やモチベーション向上に資するとともに、電気工事業界において専門技術を有する貴重な人材の育成にも貢献している。

■ 社内勉強会の様子



出所：協和電工株式会社 提供資料

・社内イベントの開催

当社では従業員同士の交流を深めるためにバーベキューなどの社内イベントも開催している。当社の業務上、建設現場ごとに作業場所が分かれるため、日常業務の中では従業員同士が十分に交流する機会が限られることから、社内イベントの開催により従業員間のコミュニケーションを促進し、組織のチームワーク活性化につなげている。

■ 社内イベントの様子



出所：協和電工株式会社 提供資料

5. サステナビリティ目標

協和電工株式会社の更なる企業価値の向上と、持続可能な開発の実現にむけた社会課題を踏まえ、以下のサステナビリティ目標を設定した。この目標は、協和電工株式会社の事業エリアである北海道が持続的に発展し、魅力ある地域を創り上げていくために策定した「北海道総合計画(2024)」などを参照し、設定したものである。目標達成への企業行動を通じて、協和電工株式会社のプレゼンス向上と地域社会が目指す姿の実現に貢献するものであり、目標は有意義である。

(1) 環境面におけるサステナビリティ目標

重要課題	脱炭素社会実現への貢献
目標・KPI	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
関連するSDGs	 

(2) 社会面におけるサステナビリティ目標

重要課題	人的資本経営の推進
目標・KPI	消費者物価指数を上回る賃金上昇を継続して実施する。
関連するSDGs	 

留意事項

本文書は、北洋銀行が借入人に対して実施する「サステナブル経営支援ローン」に際し、借入人の企業経営とサステナビリティ目標に対する北洋銀行の評価を述べたものです。

本文書に記載された情報は、現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況を評価したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

北洋銀行は当文書のあらゆる使用に起因して発生する全ての直接的、間接的損失や派生的損害については、一切義務または責任を負わないものとします。

本評価書に関する一切の権利は北洋銀行に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用(複製、改変、翻案等を含む)は禁止されています。

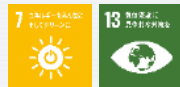
私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

協和電工 株式会社

重要課題 (マテリアリティ)

目標・KPIs

1 脱炭素社会実現への貢献



温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

2 人的資本経営の推進

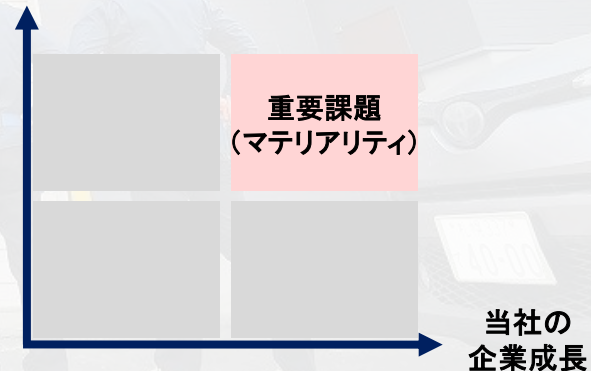


消費者物価指数を上回る賃金上昇を継続して実施する。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

1 脱炭素社会実現への貢献



目標・KPIs

温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

2 ワークライフバランスの充実

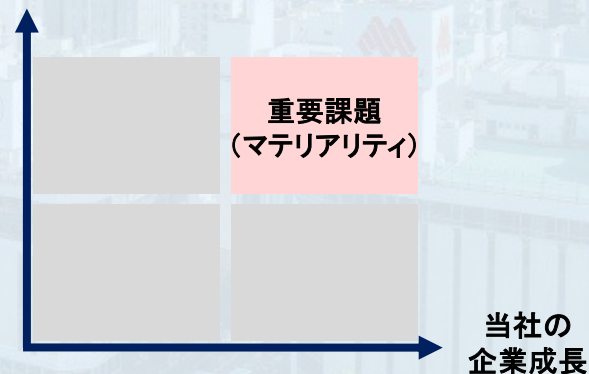


有給休暇取得率を70%以上にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

1

脱炭素社会実現への貢献



目標・KPIs

温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

2

人的資本経営の推進

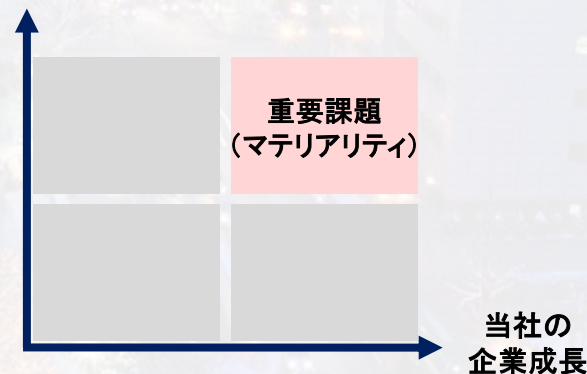


役職員のエンゲージメントの可視化を実施し、継続的に向上させる。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

1

脱炭素社会実現への貢献



目標・KPIs

温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

2

ワークライフバランスの充実

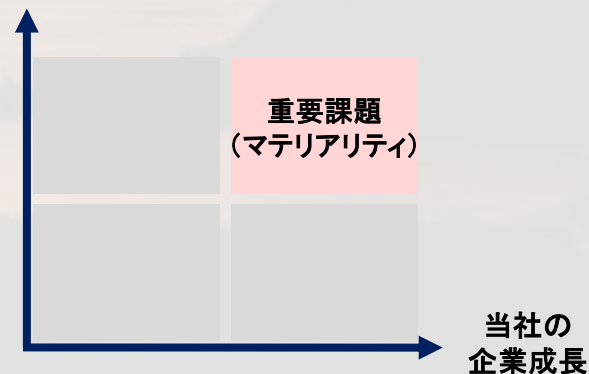


有給休暇取得率を70%以上にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



有限会社三共木工 サステナブル経営支援ローン 評価レポート

評価日:2026年3月31日

株式会社北洋銀行
花川南支店

1. 基本情報

企業名	有限会社三共木工	
代表者名	中山 春夫	
所在地	・ 本社 北海道札幌市手稲区前田1条9丁目4番1号 ・ 工場・事務所 北海道札幌市手稲区手稲前田567番地10	
資本金	1,000万円	
従業員	7名(2026年1月現在)	
業種	製造業	
事業内容	・ 内装仕上工事 ・ 建具工事	
沿革	1994年	有限会社三共木工 設立(資本金300万円)
	1998年	現住所へ本社移転
	2002年	事業拡大に伴い、現在地に自社工場を取得し移転
	2018年	資本金1,000万円に増資

2. 行動指針

行動指針

一、「限られた資源」を大切に

無駄を削ぎ落とし、地球に優しいものづくりを

一、「最適」を届ける

効率的な配送と納期厳守で、お客様の期待に応える

一、「縁」を繋ぐ

場所を問わず、人との絆から新しい仕事を拓く

一、「信」を築く

信用を第一に、自らと仲間を磨く

有限会社三共木工は上記の行動指針を掲げるとともに、「資源効率の最大化」による環境負荷の低減、「配送ルートの最適化」および「徹底した工程管理」によるエネルギー効率の向上と効率的な事業運営、「パートナーシップの強化」によるボーダレスな事業展開、「次世代を担う人材の育成」による技術伝承などに取り組み、持続的な価値を創造していくことを目指している。

3. 事業概要

有限会社三共木工は、札幌市に本社を置く内装仕上・建具工事業者である。事業エリアは、北海道内をはじめ国内全域を対象としており、ホテル、百貨店、病院、金融機関等、様々な宿泊施設や商業施設の内装を手掛けている。近年は札幌駅周辺の旺盛な再開発需要に対応しており、北海道の経済発展や新たな価値の創造に寄与している。

一般的に、宿泊施設や商業施設において「内装の質」は集客力に直結する重要なファクターとされており、高度な品質およびデザイン性が求められる。当社は創業から30年超にわたり、多種多様なオーダーへの迅速かつ柔軟な対応と、高品質な施工を実現することで、ステークホルダーからの信用を築き上げてきた。今後も信用第一を掲げ、北海道をはじめとした地域経済の発展に貢献していく方針にある。

■ 工場・事務所



■ 工場内での作業風景



出所：有限会社三共木工 提供資料

有限会社三共木工は、サステナブル経営の実現に向けて、環境面や社会面の取り組みに注力している。具体的には、通常であれば廃棄してしまうような端材を、長年の経験・技術に基づいた工夫を凝らし最大限利活用することで、産業廃棄物の削減に取り組んでいる。また、原材料を可能な限り一括で大量に仕入れたり、工程スケジュールの徹底管理により製品出荷時の配送回数を集約することで車両の燃料使用量の削減に努めているほか、昼休憩時間は木工場のブレーカーを落とすことで電力使用量を削減し、温室効果ガスの排出を抑制している。なお、ブレーカーを落とし木工機械をシャットダウンすることで、休憩時間中の従業員の安全確保にも寄与している。加えて、昼休憩以外にも2回の一斉休憩時間を設けることで、生産性の向上と労働時間の短縮化を図り、従業員が働きやすい職場づくりに努めている。

人材育成についてはOJTを基本とし、熟練の従業員が総力を挙げ次世代まで持続可能な技術の伝承に注力している。また、親睦会を兼ねた新年会や忘年会、夏季のバーベキューに加え、業績に応じた利益還元の一環として社員旅行を開催するなど、従業員同士の交流を通じてエンゲージメントの向上や組織の活性化を図っている。


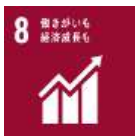
4. サステナビリティ目標

有限会社三共木工の更なる企業価値の向上と、持続可能な開発の実現にむけた社会課題を踏まえ、以下のサステナビリティ目標を設定した。この目標は、有限会社三共木工の事業エリアである北海道が持続的に発展し、魅力ある地域を創り上げていくために策定した「北海道総合計画(2024)」などを参照し、設定したものである。目標達成への企業行動を通じて、有限会社三共木工のプレゼンス向上と地域社会が目指す姿の実現に貢献するものであり、目標は有意義である。

(1) 環境面におけるサステナビリティ目標

重要課題	脱炭素社会実現への貢献
目標・KPI	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
関連するSDGs	 

(2) 社会面におけるサステナビリティ目標

重要課題	ワークライフバランスの充実
目標・KPI	有給休暇取得率を70%以上にする。
関連するSDGs	 

留意事項

本文書は、北洋銀行が借入人に対して実施する「サステナブル経営支援ローン」に際し、借入人の企業経営とサステナビリティ目標に対する北洋銀行の評価を述べたものです。

本文書に記載された情報は、現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況进行评估したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

北洋銀行は当文書のあらゆる使用に起因して発生する全ての直接的、間接的損失や派生的損害については、一切義務または責任を負わないものとします。

本評価書に関する一切の権利は北洋銀行に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用(複製、改変、翻案等を含む)は禁止されています。

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

目標・KPIs

1

脱炭素社会実現への貢献



温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

2

ワークライフバランスの充実

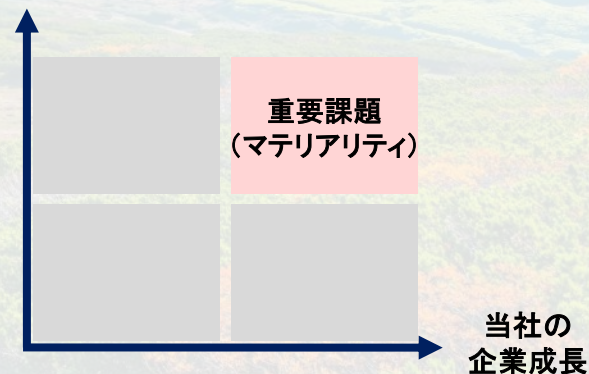


有給休暇取得率を70%以上にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



ジャパングリエイティブ株式会社

Sustainability Commitment

2026年3月

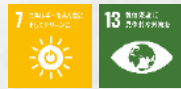
私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

目標・KPIs

1

脱炭素社会実現への貢献



温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

2

ワークライフバランスの充実



正社員の年間総労働時間を1,923時間以下にする。

3

ワークライフバランスの充実

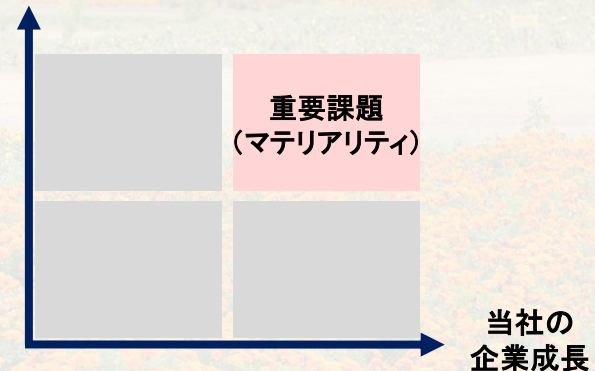


有給休暇取得率を70%以上にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



株式会社 成祥

サステナブル経営支援ローン

評価レポート

評価日: 2026年3月31日

株式会社北洋銀行
釧路中央支店

1. 基本情報

企業名	株式会社 成祥	
代表者名	任田 大泰	
所在地	釧路市星が浦大通3丁目2番28号	
資本金	100万円	
従業員	13名(2026年3月現在。うち特定技能1名、技能実習生5名。)	
業種	水産加工製造業、小売業	
事業内容	加工製造事業(活蟹、ボイル蟹、蟹むき身、たこ、貝類、魚卵など) キッチンカー事業	
沿革	2018年 2023年 2025年	資本金100万円にて当社設立 キッチンカー事業開始 冷凍機(ARTLOCKFREEZER)導入 北海道 HACCP 取得



出所: 株式会社成祥 提供資料

2. 経営理念

経営理念

鮮度と品質を大切にし最高の品質を食卓へ届ける

株式会社成祥は、日本の食文化の根底にある「安心・安全」を何よりも重要視し、手に取っていただいた皆さまに囲まれる食卓が少しでも豊かで明るくなるよう、仕入れから加工・販売まで一貫して鮮度・品質に拘っている。

3. 事業概要

株式会社成祥は、釧路市星が浦大通に本社を置く水産加工業者である。加工製造事業では、浜で仕入れたカニなどの海産物を、価格帯や鮮度、状態など顧客の要望に応じて厳選・加工のうえ販売している。また、キッチンカー事業では、地元イベントなどに出店し阿寒ポークを使用したキューバサンドを販売しており、地域の活気づりに寄与している。

いずれの事業も地元の食材を活用しており、道東の食材・食文化の魅力や安全な食の発信を通じて地域社会へ貢献している。

■ 急速冷凍機(ARTLOCK FREEZER)の導入

カニ原料やむき身の加工工程においては、食材本来の魅力を損なわないための鮮度維持が非常に重要であることから、当社は2025年4月に急速冷凍機「ARTLOCK FREEZER」を導入している。従来の冷凍手法では約5時間を要していた工程を、本設備では約30分で完了させる機能を有しており、解凍後のドリップが出にくく、食材本来の美味しさを保つ効果がある。

また、工程の効率化により工場勤務の従業員の作業負担が大きく軽減され、働きがいの向上にも寄与している。従来の方法と比較して使用電力量も抑えられることから、事業活動を通じた環境負荷の低減にもつながっている。



出所：株式会社成祥 提供資料

■ 技能実習生の受入

当社の工場では、2019年より受入しているインドネシアからの技能実習生が多く活躍している。当社勤務で得た給与は、主に母国の家族への生活支援や、帰国後の商売の資金として活用されており、実習生の人材育成や所得向上を通じて国際貢献の一翼を担っている。また、実習生の受入や労務環境の整備については、地元アドバイザーの適切な指導のもと細やかに対応しており、今後は化粧室や住居の改修等、労働環境・生活環境の更なる整備も検討している。

さらに、国籍の壁を越えた交流も積極的に行っており、日本人従業員による生活サポートや、レクリエーションの開催など、多文化共生社会の実現に向けた取り組みを進めている。



出所：株式会社成祥 提供資料


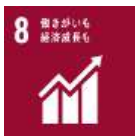
3. サステナビリティ目標

株式会社成祥の更なる企業価値の向上と、持続可能な開発の実現にむけた社会課題を踏まえ、以下のサステナビリティ目標を設定した。この目標は、当社の事業エリアである北海道が持続的に発展し、魅力ある地域を創り上げていくために策定した「北海道総合計画(2024)」などを参照し、設定したものである。目標達成への企業行動を通じて、当社のプレゼンス向上と地域社会が目指す姿の実現に貢献するものであり、目標は有意義である。

(1) 環境面におけるサステナビリティ目標

重要課題	脱炭素社会実現への貢献
目標・KPI	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
関連するSDGs	 

(2) 社会面におけるサステナビリティ目標

重要課題	ワークライフバランスの充実
目標・KPI	育児休暇取得率を、男性で64%以上、女性90%以上にする。
関連するSDGs	 

留意事項

本文書は、北洋銀行が借入人に対して実施する「サステナブル経営支援ローン」に際し、借入人の企業経営とサステナビリティ目標に対する北洋銀行の評価を述べたものです。

本文書に記載された情報は、現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況进行评估したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

北洋銀行は当文書のあらゆる使用に起因して発生する全ての直接的、間接的損失や派生的損害については、一切義務または責任を負わないものとします。

本評価書に関する一切の権利は北洋銀行に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用(複製、改変、翻案等を含む)は禁止されています。

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

目標・KPIs

1

脱炭素社会実現への貢献



温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

2

ワークライフバランスの充実

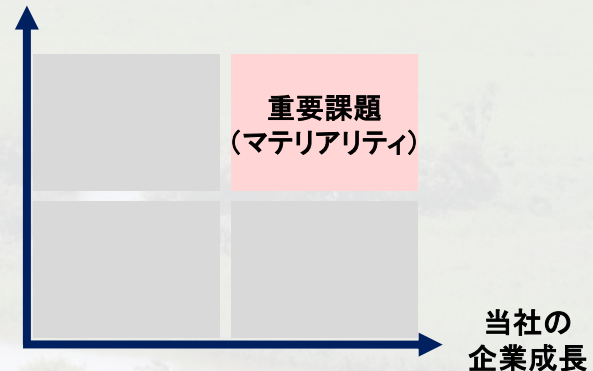


育児休暇取得率を、男性で64%以上、女性90%以上に
する。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



株式会社ソフトガーデン

Sustainability Commitment

2026年3月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

1

脱炭素社会実現への貢献



目標・KPIs

温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

2

人的資本経営の推進

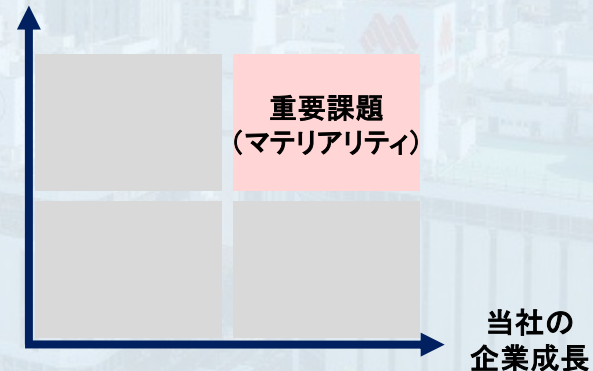


役職員のエンゲージメントの可視化を実施し、継続的に向上させる。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

1 脱炭素社会実現への貢献



目標・KPIs

温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

2 ワークライフバランスの充実

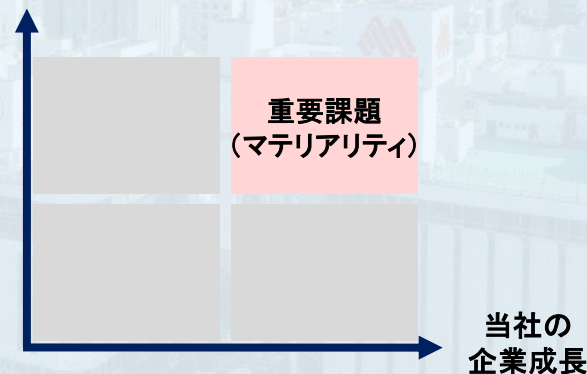


有給休暇取得率を70%以上にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



合同会社tolerance

Sustainability Commitment

2026年3月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

目標・KPIs

1

脱炭素社会実現への貢献



温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

2

ワークライフバランスの充実

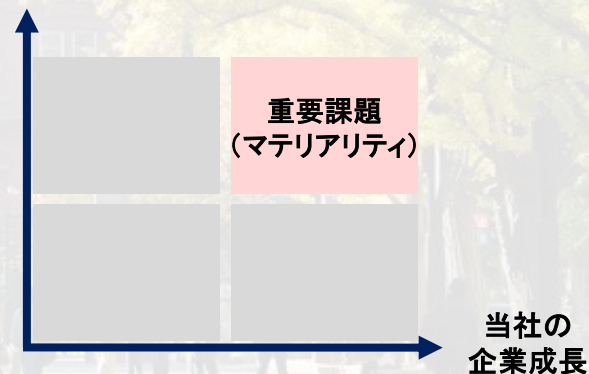


有給休暇取得率を70%以上にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。



北海道が目指す姿



私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

目標・KPIs

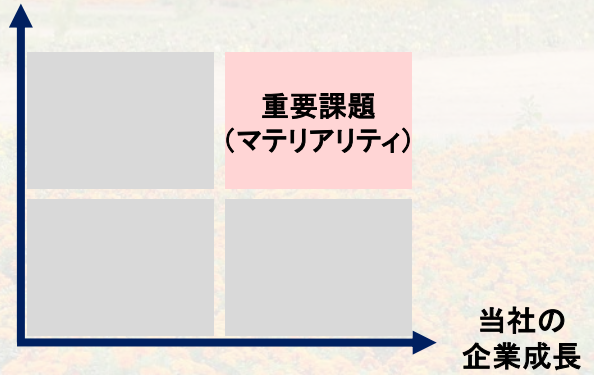
- 1 脱炭素社会実現への貢献 
- 2 ワークライフバランスの充実 

- 温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
- 正社員の年間総労働時間を1,923時間以下にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



株式会社ノースプランニング Sustainability Commitment

2026年3月

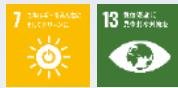
私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

目標・KPIs

1

脱炭素社会実現への貢献



温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

2

人的資本経営の推進



役職員のエンゲージメントの可視化を実施し、継続的に向上させる。

3

人的資本経営の推進

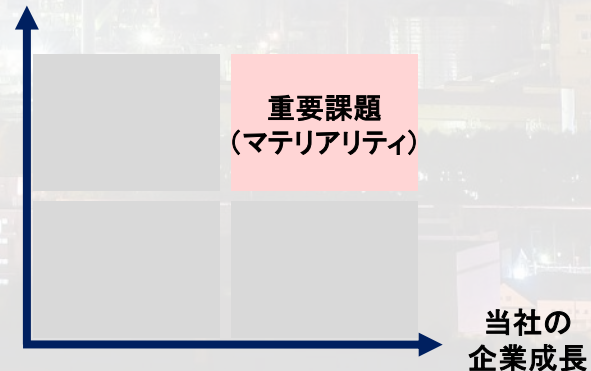


消費者物価指数を上回る賃金上昇を継続して実施する。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



当社の
企業成長

バイオマスリサーチ株式会社

Sustainability Commitment

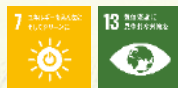
2026年3月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

目標・KPIs

1 脱炭素社会実現への貢献



温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

2 人的資本経営の推進

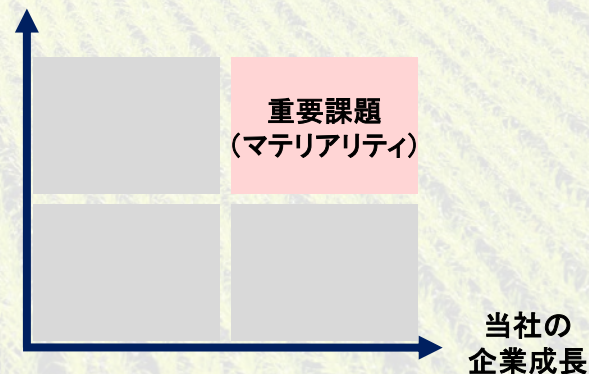


役職員のエンゲージメントの可視化を実施し、継続的に向上させる。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



有限会社フレスコ サステナブル経営支援ローン 評価レポート

評価日: 2026年3月13日

株式会社北洋銀行
神楽支店

1. 基本情報

企業名	有限会社フレスコ	
代表者名	砂村 恵則	
所在地	旭川市東鷹栖東3条6丁目2149番地の28	
資本金	300万円	
従業員	15名(2026年2月現在)	
業種	木製家具製造業	
事業内容	・一般住宅用家具の製作 ・店舗什器の製作 ・ホテル客室家具の製作	
沿革	2000年 2005年 2006年 2014年	個人事業として「フレスコ」を開業 有限会社フレスコに法人成り 本社を旭川市南8条通に移転 本社を旭川市東鷹栖東に移転

2. 経営理念

経営理念

「日々の暮らしが豊かになる家具」

フレスコは、創業以来、住宅用家具や店舗用什器等の製造を主力事業としている。お客様の暮らしや空間をより豊かにする家具づくりを目指し、打合せから現場採寸、デザイン、図面作成、配達、現場取付けまで一貫して自社の専門技術者が手掛けている。長年培ったノウハウと最新設備を活かし、多様化するニーズに応えることを使命としている。

3. 事業概要

有限会社フレスコは旭川市東鷹栖に拠点を置く、木製家具製造会社である。これまでに住宅や店舗、ホテルなど様々な空間に向けて、オーダーメイドの家具や什器を提供している。空間や用途に合わせて、設計から製作、納品、設置まで一貫して対応できる体制を整えおり、お客様の理想や要望に寄り添いながら、機能性とデザイン性を両立した家具づくりを通じて、快適で魅力的な空間の実現を支えている。

当社には、旭川市内でも数少ない5軸NC加工機を導入している。これにより、複雑な形状や高精度な加工に柔軟に対応できるだけでなく、オーダーメイドや小ロットの受注にもきめ細かく応える体制を整えている。また、設計部門を設けていることで、お客様の理想やこだわりを丁寧にヒアリングし、図面や仕様に反映させることで、要望に沿った商品づくりが可能となっている。現場では、機械による高度な加工技術と職人による手作業の技術を組み合わせることで、細部までこだわった高品質なものづくりを実現している。

■ 5軸NC加工機、専門技術者



出所：有限会社フレスコ 提供資料

当社が取り扱う商品やサービスは、個人宅向けのテレビボードや収納などの造作家具、宿泊施設の客室家具、店舗のカウンターや陳列棚、テーブルなどの什器製作に加え、リフォームや内装工事、既存家具の修理・メンテナンス、特注デザインの提案など、多岐にわたる。自社の技術や設備を活かしたOEM製品の製作にも対応しており、住宅や商業施設、公共施設など、さまざまな空間に合わせて家具や什器を提供している。

■ オーダーメイド商品



出所：有限会社フレスコ 提供資料

製造過程で発生する廃材を自社の薪ストーブで暖房エネルギーとして再利用することで、廃棄物の削減と資源循環、さらには環境負荷の低減にも積極的に取り組んでいる。さらに、工場内の設備はLED化を進めるなど、作業工程の見直しによって電力や燃料の使用効率を高め、省エネルギーにも努めている。限りある資源を大切に、持続可能なものづくりの実現に向けて、日々工夫と改善を重ねている。

当社では、性別にとらわれず多様な人材が活躍しており、誰もが働きやすい職場づくりに力を入れている。職場環境にも配慮し、未経験者でもものづくりへの情熱があれば積極的に採用し、現場での丁寧な指導やサポートを通じて成長できる環境を整えている。資格取得支援制度や作業着の支給など、働く人の安心と成長を支える制度も充実しており、一人ひとりが長く安心して働ける職場づくりに力を入れている。若手人材が現場で積極的に役割を担い、成長しながら活躍の場を広げているとともに、多様な人材がそれぞれの個性や能力を最大限に発揮できる職場を目指し、誰もが働きがいを感じられる環境づくりに取り組んでいる。

■ 薪ストーブ、若手人材の活躍



出所：有限会社フレスコ 提供資料


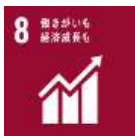
4. サステナビリティ目標

フレスコの更なる企業価値の向上と、持続可能な開発の実現にむけた社会課題を踏まえ、以下のサステナビリティ目標を設定した。この目標は、フレスコの事業エリアである北海道が持続的に発展し、魅力ある地域を創り上げていくために策定した「北海道総合計画(2024)」などを参照し、設定したものである。目標達成への企業行動を通じて、フレスコのプレゼンス向上と地域社会が目指す姿の実現に貢献するものであり、目標は有意義である。

(1) 環境面におけるサステナビリティ目標

重要課題	脱炭素社会への貢献
目標・KPI	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
関連するSDGs	 

(2) 社会面におけるサステナビリティ目標

重要課題	人的資本経営の推進
目標・KPI	消費者物価指数を上回る賃金上昇を継続して実施する。
関連するSDGs	 

留意事項

本文書は、北洋銀行が借入人に対して実施する「サステナブル経営支援ローン」に際し、借入人の企業経営とサステナビリティ目標に対する北洋銀行の評価を述べたものです。

本文書に記載された情報は、現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況を評価したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

北洋銀行は当文書のあらゆる使用に起因して発生する全ての直接的、間接的損失や派生的損害については、一切義務または責任を負わないものとします。

本評価書に関する一切の権利は北洋銀行に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用(複製、改変、翻案等を含む)は禁止されています。

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

目標・KPIs

1

脱炭素社会実現への貢献



温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

2

人的資本経営の推進

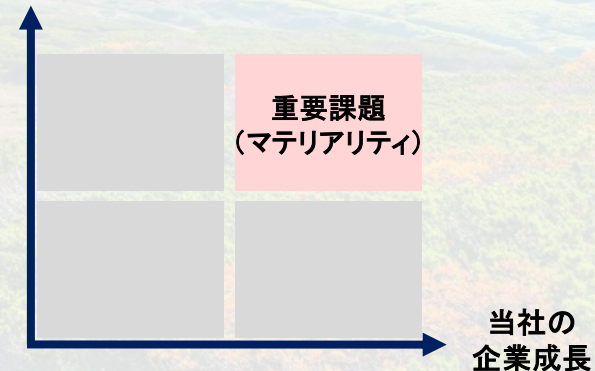


消費者物価指数を上回る賃金上昇を継続して実施する。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



プロパートランス株式会社

Sustainability Commitment

2026年3月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

1 脱炭素社会実現への貢献



目標・KPIs

温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

2 ワークライフバランスの充実

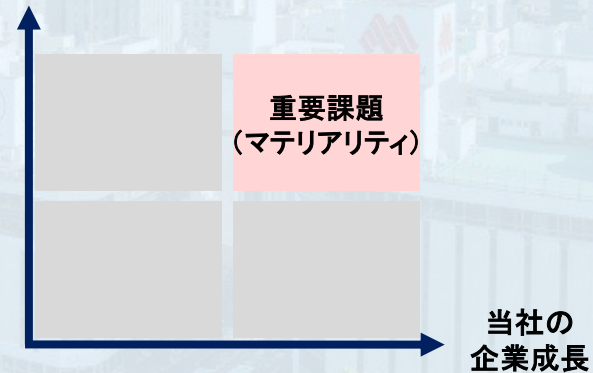


正社員の年間総労働時間を1,923時間以下にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

1 脱炭素社会実現への貢献



目標・KPIs

温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

2 ワークライフバランスの充実

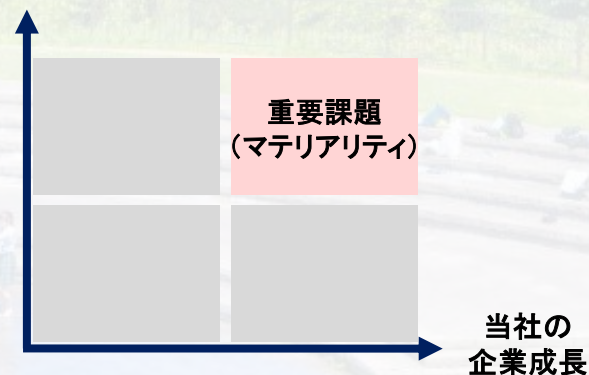


育児休暇取得率を、男性で64%以上、女性90%以上に
する。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



株式会社北海道ケンソ サステナブル経営支援ローン 評価レポート

評価日: 2026年3月6日

株式会社北洋銀行
本店営業部

1. 基本情報

企業名	株式会社北海道ケンソ	
代表者名	岡本 篤士	
所在地	本社 札幌市東区東雁来 6 条 2 丁目 7 番 15 号	
資本金	1,000 万円	
従業員	8 名 (2026 年 2 月現在)	
業種	製造業	
事業内容	根昆布を使用した調味料(だし昆布)の製造販売	
沿革	1979 年	札幌市東区栄町にて創業
	1985 年	当社主力商品である根昆布だしを開発
	2005 年	現在地に本社工場新設し移転
	2015 年	岡本篤士氏が代表取締役に就任
	2016 年	海外(欧米・アジア・中東)へ本格的に販路拡大

2. 経営理念

経営理念

環境に配慮し、健康・安全・安心を基本に社会に貢献する

株式会社北海道ケンソ(以下、「当社」という)は 1979 年の創業時から「環境への配慮」、「健康」、「安全」、「安心」が当社の経営の根幹であり、新たな価値創造をしていく最中にも、必ず立ち返る「原点」として当社に息づいている。

3. 事業概要

当社は、道産食材のブランド力を活かした商品を展開する、調味料の製造販売業者である。

長年の実績による信頼関係により安定した仕入・販売ルートを築き、自社工場による生産・物流効率化を図りながら、商談会等への参加など新たな販路開拓にも積極的に取り組んでいる。当社の調味料は厳選した道内食材を使用した高付加価値商品として提供され、根強いファンからの支持を獲得し、お土産やギフト向けにも重宝されている。また、スーパー向けとしても、普段使いのだし昆布の中ではプレミアム感により差別化し、上質志向の顧客層を取り込んでいる。

2016 年頃からはアメリカ・ヨーロッパ・アジア・中東など海外向けの販売を本格的に開始し、現在では当社の売上比率において 3~4 割を占める。今後も、当社商品の認知度を高めることを通じて、道産食材のブランド力も高め、今後も海外向けを積極的に拡大させていく方針である。

■ 当社の主力商品の「根昆布だし」



■ 商談会への参加



出所：株式会社北海道ケンソ 提供資料

当社は、「持続可能な開発目標 (SDGs)」に賛同するとともに、事業活動を通じて SDGs の達成に貢献するため、2024 年 1 月に「SDGs 宣言」を策定している。この宣言では、「商品・サービス」、「環境」、「人権・働きがい」、「地域・社会貢献」の 4 つのテーマを設け、環境・社会・経済に好影響を与える様々なサステナビリティ活動を行っている。

具体的には、さらなる品質管理の徹底を行うため、2026 年 5 月には商品・サービスの「HACCP」を取得予定 (現在申請中)。また、廃棄物の適正処理や削減・省エネなど環境へ配慮した取り組みや、従業員の人材育成や労働安全への配慮による働きがいのある職場づくり、食育活動や地域貢献活動を通じた社会貢献に取り組んでいる。

■SDGs 宣言



株式会社北海道ケンソ SDGs宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」に賛同し、
事業活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

2024年1月26日
株式会社北海道ケンソ
代表取締役 岡本 萬士

当社の取組み

商品・サービス

HACCP認証に基づき安心、安全な製品を安定的に世界の食卓へお届けします。

<主な取組み>

- ・製品の総点検
- ・品質管理の徹底
- ・HACCP認証の取得



環境

廃棄物の適正処理や削減、省エネに取組み、事業活動による環境負荷の軽減に努めます。

<主な取組み>

- ・工場内から発生する廃棄物の削減
- ・工場のボイラー等の省エネへの取組み
- ・廃棄物の適正処理
- ・省エネ機器の導入



人権・働きがい

従業員の人材育成や安心・安全で働きがいのある職場を目指します。

<主な取組み>

- ・働きやすい環境づくりの整備
- ・差別やハラスメントの禁止
- ・従業員の健康保持促進への配慮



地域・社会貢献

食育活動や地域貢献活動を通じて、持続可能な地域社会の実現に貢献します。

<主な取組み>

- ・食のイベント活動への参加
- ・地域の清掃活動
- ・地域の防災・防災活動



SUSTAINABLE GOALS



SDGsとは

- Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）は、国連の全会一致で採択された2030年までに達成すべき17の目標と169のターゲットで構成されています。
- 誰一人取り残さないという理念のもと、政府や企業、市民などすべての人が協力し、気候変動や経済成長、人権や働きがいなど、様々な社会課題の解決を目指しています。

4. サステナビリティ目標

当社の更なる企業価値の向上と、持続可能な開発の実現にむけた社会課題を踏まえ、以下のサステナビリティ目標を設定した。この目標は当社の事業エリアである北海道が持続的に発展し、魅力ある地域を創り上げていくために策定した「北海道総合計画(2024)」などを参照し、設定したものである。目標達成への企業行動を通じて、当社のプレゼンス向上と地域社会が目指す姿の実現に貢献するものであり、目標は有意義である。

(1) 環境面におけるサステナビリティ目標

重要課題	脱炭素社会実現への貢献
目標・KPI	CO2 排出量の算定を実施する
関連する SDGs	 

(2) 社会面におけるサステナビリティ目標

重要課題	人的資本経営の推進
目標・KPI	役職員のエンゲージメントの可視化を実施し、継続的に向上させる。
関連する SDGs	 

留意事項

本文書は、北洋銀行が借入人に対して実施する「サステナブル経営支援ローン」に際し、借入人の企業経営とサステナビリティ目標に対する北洋銀行の評価を述べたものです。

本文書に記載された情報は、現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況进行评估したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

北洋銀行は当文書のあらゆる使用に起因して発生する全ての直接的、間接的損失や派生的損害については、一切義務または責任を負わないものとします。

本評価書に関する一切の権利は北洋銀行に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用(複製、改変、翻案等を含む)は禁止されています。

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

1 脱炭素社会実現への貢献



目標・KPIs

温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

2 人的資本経営の推進

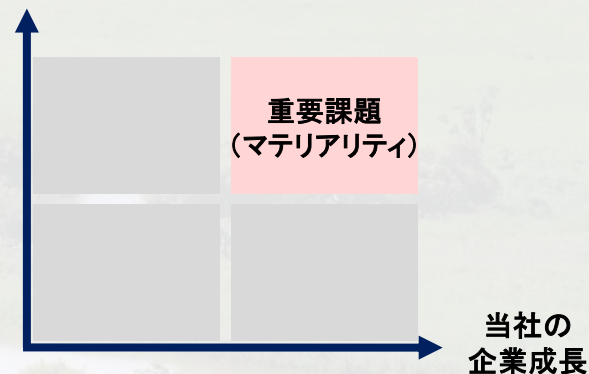


役職員のエンゲージメントの可視化を実施し、継続的に向上させる。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

目標・KPIs

1

脱炭素社会実現への貢献



温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

2

人的資本経営の推進

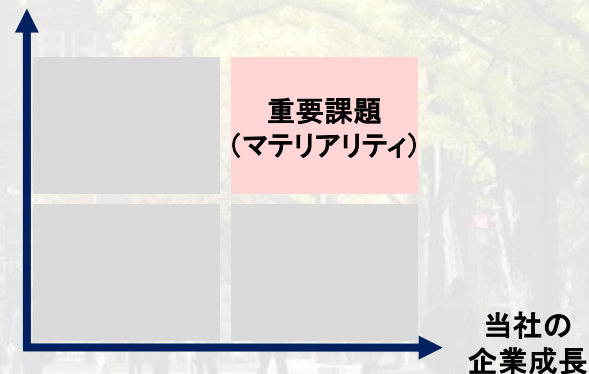


役職員のエンゲージメントの可視化を実施し、継続的に向上させる。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

目標・KPIs

1

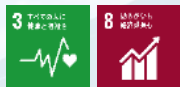
脱炭素社会実現への貢献



温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

2

ワークライフバランスの充実

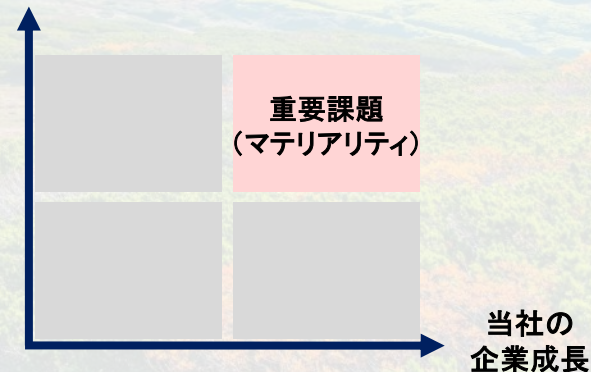


有給休暇取得率を70%以上にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

目標・KPIs

1

脱炭素社会実現への貢献



温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

2

ワークライフバランスの充実

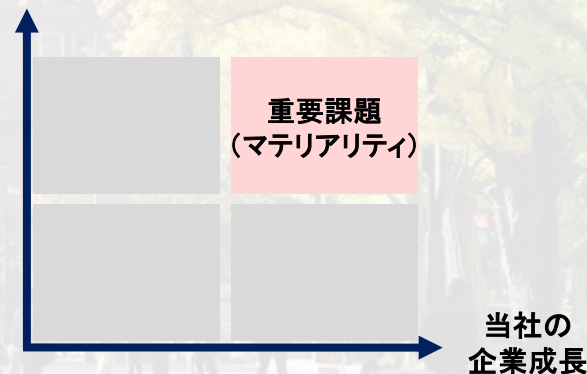


有給休暇取得率を70%以上にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

目標・KPIs

1

脱炭素社会実現への貢献



温室効果ガス排出量を2030年まで毎年2.7%以上削減する。

2

ワークライフバランスの充実

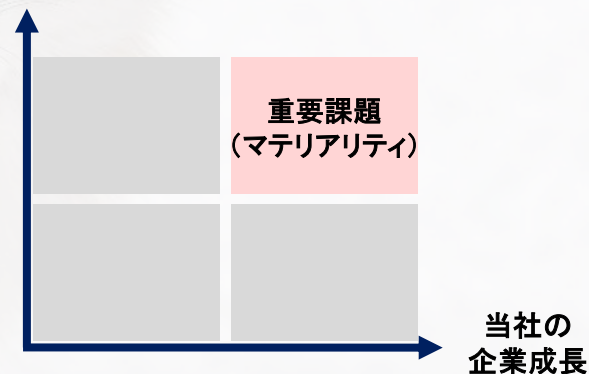


育児休暇取得率を、男性で64%以上、女性90%以上に
する。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

1

脱炭素社会実現への貢献



目標・KPIs

温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

2

ワークライフバランスの充実

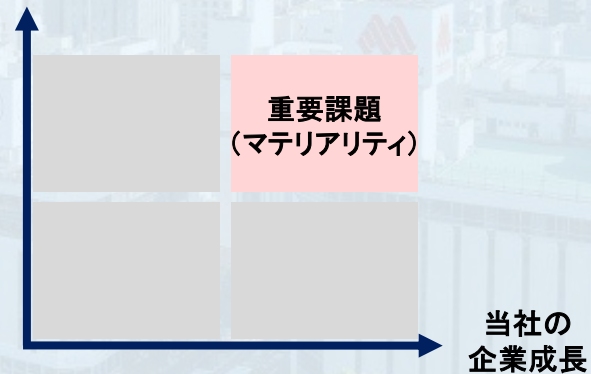


正社員の年間総労働時間を1,923時間以下にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



株式会社らいふばでい サステナブル経営支援ローン 評価レポート

評価日: 2026年 3月 5日

株式会社北洋銀行
麻生支店

1. 基本情報

企業名	株式会社らいふばでい	
代表者名	代表取締役 金 大器	
所在地	・ 本社 札幌市中央区北4条西13丁目1番地2号 RICH 植物園 BLDG. 3階	
資本金	6,600万円	
従業員	81名 (2026年01月現在)	
業種	介護サービス	
事業内容	・ 地域密着型通所介護 「にじいろ」 https://www.life-buddy.co.jp/nijiuro/index.html ・ リハビリ特化型デイサービス 「らいふばでい」 https://www.life-buddy.co.jp/guide.html	
沿革	2016年	株式会社FDSホールディングスグループ※の介護サービス部門として設立
	2016年	千葉県市原市に「リハビリ特化型デイサービス」開設
	2018年	北海道苫小牧市糸井町に「リハビリ特化型デイサービス」開設
	2019年	千葉県茂原市に「リハビリ特化型デイサービス」開設
	2022年	北海道札幌市手稲区に「地域密着型通所介護」開設
	2023年	北海道苫小牧市春日町に「地域密着型通所介護」開設
	2024年	北海道苫小牧市大成町に「地域密着型通所介護」開設
	2026年	北海道苫小牧市花園町に「地域密着型通所介護」開設(予定)

※FDSホールディングスグループは、「らいふばでい」のほか、菓子処「梅屋」、アミューズメント「三慶」を運営

2. 企業理念

企業理念

私たちのグループは、
「お客様の喜び、地域の方の喜び、社員の喜び、未来への喜び」
四つの喜びを創造する企業グループです。

- 一、お客様の喜びとは、安心、信頼、信用を提供する企業
- 一、地域の方の喜びとは、地域に貢献する企業
- 一、社員の喜びとは、お客様と喜びを共有する自己実現の場
- 一、未来への喜びとは、家族と夢を創造する企業

FDS ホールディングスグループは、デイサービスの「株式会社らいふばでい」、菓子処「株式会社梅屋」、アミューズメント「株式会社三慶」を運営している。

グループの企業理念を「お客様の喜び、地域の方の喜び、社員の喜び、未来への喜び 四つの喜びを創造する企業グループ」とし、企業理念の実践、オンリーワン企業を目指すため、【スピード】「明日」より、「今」より、「既に」を心がける【創造性】常識ではなく非常識に挑戦する【人間性】常に感謝と思いやりの気持ちを持ち、信頼と協調を築き上げるという社訓を掲げている。

- FDS ホールディングスグループ4法人 合同新人研修



- FDS ホールディングス 企業シンボル



出所：FDSホールディングス 提供資料

3. 事業概要

(1) 事業概要

株式会社らいふばでいは、北海道 5 拠点(札幌市 1 拠点、苫小牧市 4 拠点)、千葉県 2 拠点にリハビリ特化型デイサービスの「らいふばでい」と地域密着型通所介護の「にじいろ」を運営している。グループのノウハウや経験を介護業界に応用することで、これまでにない施設運営、キャリア形成、研修サポートなどを実施している。

(2) 事業所概要

- デイサービス にじいろ (地域密着型通所介護/デイサービス)

所 在	電話	定員
にじいろ富丘店 札幌市手稲区富丘 3 条 4 丁目 10-30	011-683-2416	18 名
にじいろ春日町店 苫小牧市春日町 3 丁目 14-19	0144-35-2416	18 名
にじいろ大成町店 苫小牧市大成町 2 丁目 3-1	0144-76-2416	18 名
(2026 年予定) 苫小牧市花園町 1 丁目 6-24 花園町ショッピングセンター内	-	18 名

デイサービスにじいろでは、「21 世紀の介護のカタチを提供する施設」の実現を目指し、「ご利用者さまの目線に合わせた介護」を心がけている。小規模な施設ならではのきめ細かな対応が、にじいろが目指す「21 世紀の介護」であり、「自分の家族を通わせたいような施設づくり」を合言葉に、安全、安心な施設運営を行っている。具体的な取り組みとして、利用者とその家族の生活に合わせた施設作りを行っており、利用者

家族の出勤時間や帰宅時間に合わせられるような個別の送迎時間の設定や、車いす送迎、急な利用・宿泊、入浴を含む 4 時間からの短時間利用などが可能となっている。また、介護保険を使わない延長サービスや不定期でのショートステイなど介護保険では対応が難しいサポートも行っており、利用者とその家族が楽しく笑顔で暮らしていけるお手伝いをモットーに運営を行っている。

にじいろは以下の 6 つポイントを掲げている。

- 静穏な環境と広々としたスペースで個人の時間の確保ができます
- 施設の雰囲気を感じていただけるよう 1 日見学もごぞいます。ご家族でお越しいただけます
- 365 日 24 時間営業で年末年始の特別期間にも対応しております
- 好立地であり、ご家族の方もお気軽にお越しいただけます
- 介護度の重い方でも受入れが可能です。お気軽にお問合せください
- 個別の送迎対応や広範囲での送迎が可能ですので、安心して通っていただけます

にじいろ富丘店



にじいろ春日町店



にじいろ大成町店



日々の様子



出所：株式会社らいふばでい 提供資料

■ らいふばでい（リハビリ特化型デイサービス）

所 在	電話	定員
らいふばでい 苦小牧店 苦小牧市系井 135-1	0144-84-3582	午前 18 名 / 午後 18 名
らいふばでい 市原店 千葉県市原市不入斗 1463	0436-37-5223	午前 18 名 / 午後 18 名
ラッコくらぶ 茂原店 千葉県茂原市高師町 3 丁目 12-6 篠崎ビル 1F	0475-44-7111	午前 18 名 / 午後 18 名

らいふばでいは 3 時間 15 分のデイサービスとして、楽しく続けられることを第一目標に様々なメニューを揃えている。健康で元気に利用可能できる環境を作るため以下の特徴がある。

- ご利用者さまのご自宅玄関先まで無料でお迎えし、お帰りの際もご自宅玄関先までお送りします。
- レッドコードのロープが体を支えることによって、筋肉の緊張を緩和し、余計な負荷をかけずに効果的に柔軟性やバランス機能向上を目指すエクササイズです。
- 個室での入浴設備を完備しており、入浴による血行促進などによるリハビリ効果の増大に期待できます。
- らいふばでい独自開発した「ばでいりふれ」は、日常動作に必要な筋肉の緊張を効果的に緩和し、その後のトレーニングに良い影響を及ぼします。
- リハビリ機器が充実しており、フィットネスクラブのような運動を無理なく継続的行えます。

らいふばでい苫小牧店

入浴施設



レッドコード

リカレントバイク



ADL 訓練

ばでいりふれ



4. サステナビリティ経営

株式会社らいふばでいは、SDGsの理念に基づき、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを積極的に推進している。具体的な取り組みとして、事業活動において、誰もが住み慣れた地域で健康で元気に暮らしていくための地域包括ケアシステム構築のため、地域の利用者やその家族のニーズに合った介護サービスを展開していることが挙げられる。

職員ひとりひとりが働きやすい環境づくりにも注力している。性別や年齢など分け隔てのない多様な人材を従業員として受け入れる方針であるほか、評価制度や資格取得支援制度を設け、従業員の働く意欲向上にも努めている。また、従業員のエンゲージメント調査を行い、適宜労働環境の改善に努めている。金代表は「安心・信

頼・信用を提供する企業」「地域に貢献する企業」であり続けるために、従業員には「お客様と慶びを共有する自己実現の場」として当社で輝いてほしいと願っている旨メッセージを発信している。

また、ステークホルダーへ個人情報保護方針を明示するなど、コンプライアンスの徹底を図ることで、社会から高い信頼を得るための取り組みを実践している。

5. サステナビリティ目標

株式会社らいふばでの更なる企業価値の向上と、持続可能な開発の実現にむけた社会課題を踏まえ、以下のサステナビリティ目標を設定した。この目標は、株式会社らいふばでの事業エリアである北海道が持続的に発展し、魅力ある地域を創り上げていくために策定した「北海道総合計画(2024)」などを参照し、設定したものである。目標達成への企業行動を通じて、株式会社らいふばでのプレゼンス向上と地域社会が目指す姿の実現に貢献するものであり、目標は有意義である。

(1) 環境面におけるサステナビリティ目標

重要課題	脱炭素社会実現への貢献
目標・KPI	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
関連するSDGs	 

(2) 社会面におけるサステナビリティ目標

重要課題	人的資本経営の推進、ワークライフバランスの充実
目標・KPI	① 役職員のエンゲージメントの可視化を実施し、継続的に向上させる。 ② 有給休暇取得率を70%以上にする。
関連するSDGs	 

留意事項

本文書は、北洋銀行が借入人に対して実施する「サステナブル経営支援ローン」に際し、借入人の企業経営とサステナビリティ目標に対する北洋銀行の評価を述べたものです。

本文書に記載された情報は、現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況进行评估したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

北洋銀行は当文書のあらゆる使用に起因して発生する全ての直接的、間接的損失や派生的損害については、一切義務または責任を負わないものとします。

本評価書に関する一切の権利は北洋銀行に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用(複製、改変、翻案等を含む)は禁止されています。

株式会社らいふばでい

Sustainability Commitment

2026年3月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

目標・KPIs

1

脱炭素社会実現への貢献



温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

2

人的資本経営の推進



役職員のエンゲージメントの可視化を実施し、継続的に向上させる。

3

ワークライフバランスの充実

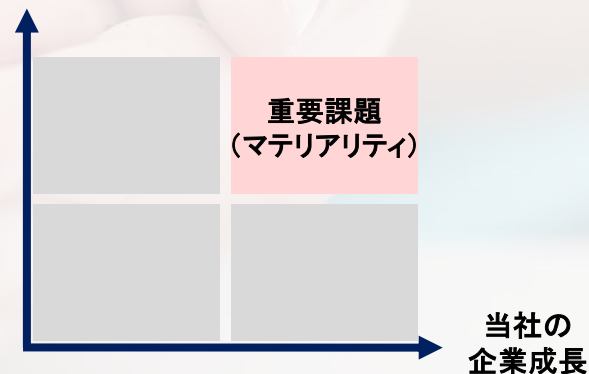


有給休暇取得率を70%以上にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

目標・KPIs

1 脱炭素社会実現への貢献



温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

2 ワークライフバランスの充実



有給休暇取得率を70%以上にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿

